

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【四半期会計期間】	第53期第2四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	かどや製油株式会社
【英訳名】	KADOYA SESAME MILLS INCORPORATED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小澤 二郎
【本店の所在の場所】	東京都品川区西五反田八丁目2番8号
【電話番号】	(03)3492-5545（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員管理部長 水戸 優
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区西五反田八丁目2番8号
【電話番号】	(03)3492-5545（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員管理部長 水戸 優
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第2四半期 累計期間	第53期 第2四半期 累計期間	第52期 第2四半期 会計期間	第53期 第2四半期 会計期間	第52期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(百万円)	11,465	11,722	5,701	5,835	22,223
経常利益(百万円)	1,314	1,594	547	776	1,828
四半期(当期)純利益(百万円)	754	926	304	451	1,013
持分法を適用した場合の投資利益 (百万円)	-	-	-	-	-
資本金(百万円)	-	-	2,160	2,160	2,160
発行済株式総数(千株)	-	-	9,400	9,400	9,400
純資産額(百万円)	-	-	15,223	15,819	15,391
総資産額(百万円)	-	-	20,487	21,090	19,372
1株当たり純資産額(円)	-	-	1,619.55	1,682.96	1,637.40
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	80.26	98.54	32.39	47.99	107.82
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	-	-	50
自己資本比率(%)	-	-	74.3	75.0	79.5
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,005	3,848	-	-	2,063
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,394	90	-	-	1,282
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	329	468	-	-	329
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	708	4,828	1,539
従業員数(人)	-	-	271	273	272

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結経営指標等については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第52期の1株当たり配当額には、創業150周年記念配当5円を含んでおります。

5. 第53期第1四半期より、表示単位未満の記載方法を四捨五入から切捨てに変更しております。

なお、比較を容易にするため、第52期以前についても表示単位未満を切捨てに組替え表示しております。

2【事業の内容】

当第2四半期会計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。
また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第2四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(人)	273
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員であり、アルバイト、非常勤嘱託は含んでおりません。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

区分	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同期比(%)
ごま油(トン)	5,534	94.9
食品ごま(トン)	2,425	91.0
脱脂ごま(トン)	4,417	94.7
合計(トン)	12,377	94.0

(注) ごま油生産数量には輸入原料油を含みます。

(2) 商品仕入実績

区分	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同期比(%)
商品(百万円)	15	47.4
合計(百万円)	15	47.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社は受注生産は行っておりません。

(4) 販売実績

当第2四半期会計期間の販売実績を商品区分別に示すと、次のとおりであります。

商品分類別	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同期比(%)
ごま油(百万円)	4,539	107.6
食品ごま(百万円)	1,131	88.2
脱脂ごま(百万円)	147	87.7
商品(百万円)	16	48.3
合計(百万円)	5,835	102.3

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 前第2四半期会計期間及び当第2四半期会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
三井物産(株)	2,395	42.0	2,525	43.3
三菱商事(株)	757	13.3	837	14.3

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第2四半期会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、一部の景気指標で改善傾向が見られたものの、昨年来の世界的な景気後退による外需の落ち込みや円高が続く中、設備投資の減退、雇用不安、消費の低迷などの厳しい状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の節約志向、買い控え等の動きが広がっており、依然として需要の顕著な回復は見られません。

このような状況下、当社は原料価格の変動に対し、漸次販売価格の是正を行っており、原料価格の高騰から製品価格値上げを行ったことにより数量を落とした前年同期に比べ、ごま油の販売量が5.4%増となったこともあり、食品ごまの販売量は9.1%減となったものの、売上高は全体で2.3%増となりました。

コスト面では、前期高騰した燃料費が落ち着きを取り戻したことから製造経費は前年同期比減少、為替が円高に振れたこととドルベースの原料購入価格が前年同期比ダウンしたこと等から払出単価が前年同期を下回ったこと等により、売上原価は13.4%減となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、販売数量を確保するため広告宣伝費や販促費が増加したことにより、前年同期比25.8%増加となりました。

この結果、売上高は、5,835百万円（前年同期比133百万円増）、経常利益は776百万円（前年同期比229百万円増）、四半期純利益は451百万円（前年同期比146百万円増）となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前四半期会計期間末に比べ2,173百万円増加し、4,828百万円となりました。

なお、当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。
（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期会計期間において営業活動の結果獲得した資金は2,280百万円（前年同期比3,452百万円増）となりました。これは税引前四半期純利益が773百万円（前年同期比235百万円増）あり、たな卸資産が600百万円減少（前年同期比2,828百万円増）、仕入債務が434百万円増加（前年同期比126百万円増）、未払金が123百万円増加（前年同期比172百万円増）、減価償却を142百万円（前年同期比19百万円減）行うなどの増加要因により、資金が増加したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期会計期間において投資活動の結果使用した資金は25百万円（前年同期比1,005百万円減）となりました。これは投資有価証券の償還による収入が52百万円（前年同期比52百万円増）あったものの、有形固定資産等の取得による支出が76百万円（前年同期比59百万円増）あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期会計期間において財務活動の結果使用した資金は81百万円（前年同期比81百万円減）となりました。これは配当金の支払いによるものであります。

(3)業務上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第2四半期会計期間における研究開発活動の金額は、10百万円であります。

なお、当第2四半期会計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期会計期間において、前四半期会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通 株式	9,400,000	同左	ジャスダック証券取引 所	権利内容に何ら限定の ない当社における標準 となる株式であり、単 元株式数は100株であ ります。
計	9,400,000	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成21年7月1日 ~ 平成21年9月30日	-	9,400,000	-	2,160	-	3,082

(5)【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目3-1	2,575.8	27.40
三井物産株式会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区大手町一丁目2-1 (東京都中央区晴海一丁目8-12晴海アイ ランドトリトンスクエアオフィスタワー Z棟)	2,100	22.34
小澤物産株式会社	東京都品川区西五反田八丁目3-16	1,551	16.50
伊藤忠商事株式会社	東京都港区北青山二丁目5-1	300	3.19
国分株式会社	東京都中央区日本橋一丁目1-1	300	3.19
日清食品ホールディングス株式会社	大阪府大阪市淀川区西中島四丁目1-1	300	3.19
株式会社J-オイルミルズ	東京都中央区明石町8-1	100	1.06
日本山村硝子株式会社	兵庫県尼崎市西向島町15-1	100	1.06
かどや製油従業員持株会	東京都品川区西五反田八丁目2-8	82.4	0.87
エバラ食品工業株式会社	神奈川県横浜市西区北幸二丁目5-15	50	0.53
キュービー株式会社	東京都渋谷区渋谷一丁目4-13	50	0.53
計	-	7,509.2	79.88

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,399,600	93,996	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 300	-	-
発行済株式総数	9,400,000	-	-
総株主の議決権	-	93,996	-

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
かどや製油株式会社	東京都品川区西五反田 八丁目2-8	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	1,390	1,398	1,596	1,650	1,600	1,600
最低(円)	1,334	1,350	1,380	1,455	1,540	1,516

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

(1) 当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第2四半期会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)は、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

(2) 当社の四半期財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、表示単位未満を四捨五入して記載しておりましたが、第1四半期累計期間より表示単位未満を切捨てにて記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前第2四半期会計期間及び前第2四半期累計期間についても表示単位未満を切捨てに組替え表示しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第2四半期会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期財務諸表については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなっております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,843	1,554
受取手形及び売掛金	4,975	4,838
商品及び製品	1,002	1,009
仕掛品	724	783
原材料及び貯蔵品	2,497	4,076
その他	385	383
流動資産合計	14,430	12,646
固定資産		
有形固定資産	1 5,103	1 5,163
無形固定資産	56	75
投資その他の資産	2 1,500	2 1,486
固定資産合計	6,660	6,725
資産合計	21,090	19,372
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,286	1,287
未払法人税等	713	588
賞与引当金	208	170
役員賞与引当金	21	46
その他	1,350	1,203
流動負債合計	4,581	3,297
固定負債		
長期未払金	77	-
退職給付引当金	612	607
役員退職慰労引当金	-	75
固定負債合計	690	682
負債合計	5,271	3,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	10,558	10,102
自己株式	0	0
株主資本合計	15,801	15,344
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	68	25
繰延ヘッジ損益	50	21
評価・換算差額等合計	18	46
純資産合計	15,819	15,391
負債純資産合計	21,090	19,372

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	11,465	11,722
売上原価	7,724	7,193
売上総利益	3,740	4,528
販売費及び一般管理費	¹ 2,519	¹ 2,968
営業利益	1,221	1,559
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	8	8
為替差益	70	23
雑収入	17	5
営業外収益合計	99	40
営業外費用		
支払利息	0	-
支払手数料	2	3
雑損失	4	2
営業外費用合計	6	5
経常利益	1,314	1,594
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	0
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	10	3
投資有価証券償還損	-	2
特別損失合計	10	5
税引前四半期純利益	1,303	1,589
法人税、住民税及び事業税	587	695
法人税等調整額	38	32
法人税等合計	549	663
四半期純利益	754	926

【第2四半期会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,701	5,835
売上原価	3,982	3,446
売上総利益	1,719	2,388
販売費及び一般管理費	1,277	1,608
営業利益	441	780
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
為替差益	97	-
雑収入	12	2
営業外収益合計	112	4
営業外費用		
支払利息	0	-
支払手数料	0	1
為替差損	-	4
雑損失	4	2
営業外費用合計	5	7
経常利益	547	776
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	10	2
投資有価証券償還損	-	2
特別損失合計	10	4
税引前四半期純利益	537	773
法人税、住民税及び事業税	290	408
法人税等調整額	57	86
法人税等合計	233	321
四半期純利益	304	451

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,303	1,589
減価償却費	325	287
その他の償却額	0	0
賞与引当金の増減額(は減少)	31	37
役員賞与引当金の増減額(は減少)	19	25
退職給付引当金の増減額(は減少)	7	5
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2	75
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	12	10
支払利息	0	-
支払手数料	2	3
投資有価証券償還損益(は益)	-	2
為替差損益(は益)	4	-
有形固定資産除売却損益(は益)	10	2
売上債権の増減額(は増加)	813	137
破産更生債権等の増減額(は増加)	-	0
たな卸資産の増減額(は増加)	3,328	1,645
前払費用の増減額(は増加)	24	5
未収入金の増減額(は増加)	0	0
その他の資産の増減額(は増加)	3	8
仕入債務の増減額(は減少)	164	1,020
未払金の増減額(は減少)	49	16
未払消費税等の増減額(は減少)	71	94
未払費用の増減額(は減少)	3	5
その他の負債の増減額(は減少)	7	14
小計	2,811	4,411
利息及び配当金の受取額	39	10
利息の支払額	0	-
法人税等の支払額	233	572
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,005	3,848
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,600	-
有形固定資産の取得による支出	184	140
無形固定資産の取得による支出	0	0
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	20	2
投資有価証券の償還による収入	-	52
投資有価証券の取得による支出	2	2
貸付金の回収による収入	2	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,394	90
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	329	468
財務活動によるキャッシュ・フロー	329	468
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,940	3,289
現金及び現金同等物の期首残高	2,648	1,539
現金及び現金同等物の四半期末残高	708	4,828

【表示方法の変更】

当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
(四半期キャッシュ・フロー計算書) 前第2四半期累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の資産の増減額」に含めて表示しておりました「破産更生債権等の増減額」は重要性を鑑み、当第2四半期累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の資産の増減額」に含まれる「破産更生債権等の増減額」は0百万円であります。

【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
(役員退職慰労金の廃止) 当社は役員の退職慰労金の支払いに備えるため、役員退職慰労引当金を計上しておりましたが、平成21年6月25日開催の定時株主総会の日をもって役員退職慰労金制度を廃止することが決議されました。 同制度の廃止に伴い、定時株主総会の日以前の在職期間分についての役員退職慰労金について、打ち切り支給することになりました。 なお、支給時期は、各役員それぞれの退任時とし、役員退職慰労引当金77百万円は、退任時まで固定負債「長期未払金」として計上しております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
1. 有形固定資産の減価償却累計額は、6,835百万円です。 2. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額	1. 有形固定資産の減価償却累計額は、6,589百万円です。 2. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額
投資その他の資産 87百万円	投資その他の資産 87百万円

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
販売促進費 769百万円	販売促進費 1,118百万円
支払運賃 568百万円	賞与引当金繰入額 101百万円
賞与引当金繰入 98百万円	役員賞与引当金繰入額 21百万円
役員賞与引当金繰入 20百万円	役員退職慰労引当金繰入額 1百万円
役員退職慰労引当金繰入 5百万円	

前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
販売促進費 371百万円	販売促進費 617百万円
支払運賃 267百万円	賞与引当金繰入額 50百万円
賞与引当金繰入 47百万円	役員賞与引当金繰入額 10百万円
役員賞与引当金繰入 20百万円	
役員退職慰労引当金繰入 3百万円	

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在)
現金及び預金勘定 723百万円	現金及び預金勘定 4,843百万円
預入期間が3か月を超える 15百万円	預入期間が3か月を超える 15百万円
定期預金	定期預金
現金及び現金同等物 708百万円	現金及び現金同等物 4,828百万円

(株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

- 発行済株式種類及び総数
普通株式 9,400千株
- 自己株式の種類及び株式数
普通株式 124株
- 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月25日 定時株主総会	普通株式	469	50	平成21年3月31日	平成21年6月26日	利益剰余金

(1株当たり情報)

- 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 1,682.96円	1株当たり純資産額 1,637.40円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 80.26円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 98.54円 同左

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益(百万円)	754	926
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	754	926
期中平均株式数(千株)	9,400	9,399

前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 32.39円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 47.99円 同左

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益(百万円)	304	451
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	304	451
期中平均株式数(千株)	9,400	9,399

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月7日

かどや製油株式会社

取締役会御中

監査法人 トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 松野 雄一郎 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 吉村 孝郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているかどや製油株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第52期事業年度の第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、かどや製油株式会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月5日

かどや製油株式会社

取締役会御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松野 雄一郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉村 孝郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているかどや製油株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第53期事業年度の第2四半期会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、かどや製油株式会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。